

実践報告

<演題原稿レイアウト>

上部余白 30mm

演題名: 中央揃え(1行目)
サブタイトルをつける場合: 中央揃え(2行目)
前後に～をつける *ハイフン(-)にしない

使用する全ての文字は
10.5 ポイントにする

□□□□□□□□
～□□□□□□□□□□□□□□～

神奈川県看護協会立□□病院
○神奈川県 花子 横浜 太郎

左右余白 25mm

キーワード: □□□ □□□ □□□

I. 背景

キーワード: 研究者名から1行あける
中央揃えで間を1字あけ、3～5個とする

VI. 考察

※1行22文字×2段組
※2枚目以降は1行22文字×45行×2段組

I. 背景、II. 目的・見出しを記述
キーワードから1行あける
符号の順序は、I. 1. 1) (1) ①

所属施設名は正式名称で記入 右揃え(3行目)
研究者名: 発表者は筆頭に記入し、○をつける
共同研究者で所属施設が異なる場合は、符号 1)2)で示す
同一施設の研究者名は2行以内で表記する

VII. 実践への示唆

図表の示し方↓

図表は枠内に掲載、白黒で判別できるものとし、それぞれ通し番号をつける
・表番号と表タイトルは、表の上
・図番号と図タイトルは、図の下

表1 ●●●●●		
カテゴリー	サブカテゴリー	コード
○○○○	△△△△	AAAAAAA
		BBBBBBB
		CCCCCCC
	□□□□	DDDDDDD
		EEEEEEE

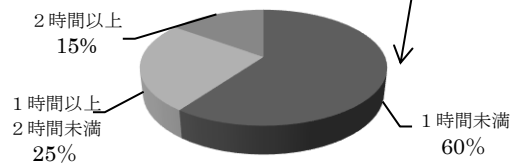


図1 ●●●●●

利益相反の有無について記載

本演題発表に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はない。

VIII. 引用文献

引用文献: 引用順に番号をつける。
※本文の引用箇所の肩に¹⁾²⁾と番号をつける
例) ○○は「……………」¹⁾と述べている。

下部余白 25mm